

1996年10月、50才を超えた年齢になった私は、会社から見透かされた様に長年勤務した三菱電機(株)群馬製作所より東京本社へ出向を命じられ、東京の駒込寮を出発点として大森、丸の内、船橋の各都市で延べ12年間、巨大都市東京とその周辺都市で、便利だけれど喧騒と圧倒されるビルの狭間の中で仕事をしました。

定年となりふるさとに帰郷して直ぐに、以前よりお世話になっていた方のお誘いで再び約4年間三菱電機の関係会社のお手伝いで、今度は日本橋や新宿界限まで毎日新幹線通勤で通う生活となり、ようやくお役御免になって、気が付けば60才半ばをとうに過ぎる年になっておりました。

ふるさとの自宅に落ち着きようやく静謐な日常を過ごせると思っていたのですが、人生はそんなに甘くはありませんでした。

自宅近くに高齢な母親がおり、介護をする毎日が待っておりました(私は男4人兄弟の次男でしたが)。2016年に母親が100才を目前に天寿を全うするまでの5年間、毎日介護の生活に追われ周りをゆっくり眺める時間も無く、また余裕のある精神状態にもなれず、気が付けば70才を過ぎている事に唖然とした事が記憶に新しいです。

母親の葬儀を無事済ませ、自宅の周辺を眺めてみると、今まで気づかなかった周りの自然の豊かさに改めて驚かされ、若かりし日に修業した日本画の世界や“尾島ねふた祭”の山車の“見送り絵”を描いた頃の思いがふつふつと心の底から湧き上がるのを感じました。

手始めに、この豊かな自然の姿を少しでも切り取り、形として残したいと思い、どの様な事が出来るか、日課となった毎日の散歩の折々に考えてみました。

幸いにも、私はこの自然の豊かな風景や其処に生息する昆虫や小動物・花禽などを日本画という手法で写しとる術を少しばかり持ち合わせているとは言え、昔とは異なり、体力的にも精神的にも往時の強壮さも無く、許される時間もそう多く残されていない事を考えると、じっくりと腰を据えて取り組むには、あまりにも残された時間の無さを感じました。そこで今、静かなブームになっている、デジタルカメラで自分の周りの自然の姿を切り取って残すことが出来ればいいなという思いに至りました。

そうすれば、将来体力が衰えた時でも、視力と右腕が不遇にならなければ室内で写真を参考に自分の創作活動を続けられるのではないかと考え、そろりそろりと毎日の散歩の道行きの写真撮影を始めました。

始めて見ると、さっそく写真を撮るといふ事の難しさに直面する事になりました。

絵を描く場合は、見たくないものは、見た瞬間に、脳が情報を取捨選択し、無意識に見たい情報や心に響く情報のみ記憶の箱に入れてくれるので、表現はそれに従い描けば良いのですが、写真はそうは行きません。写真機という物理的な機械を使いこなさなければ、自分の心に響くシーンを再現できない事を改めて痛感するに至りました。

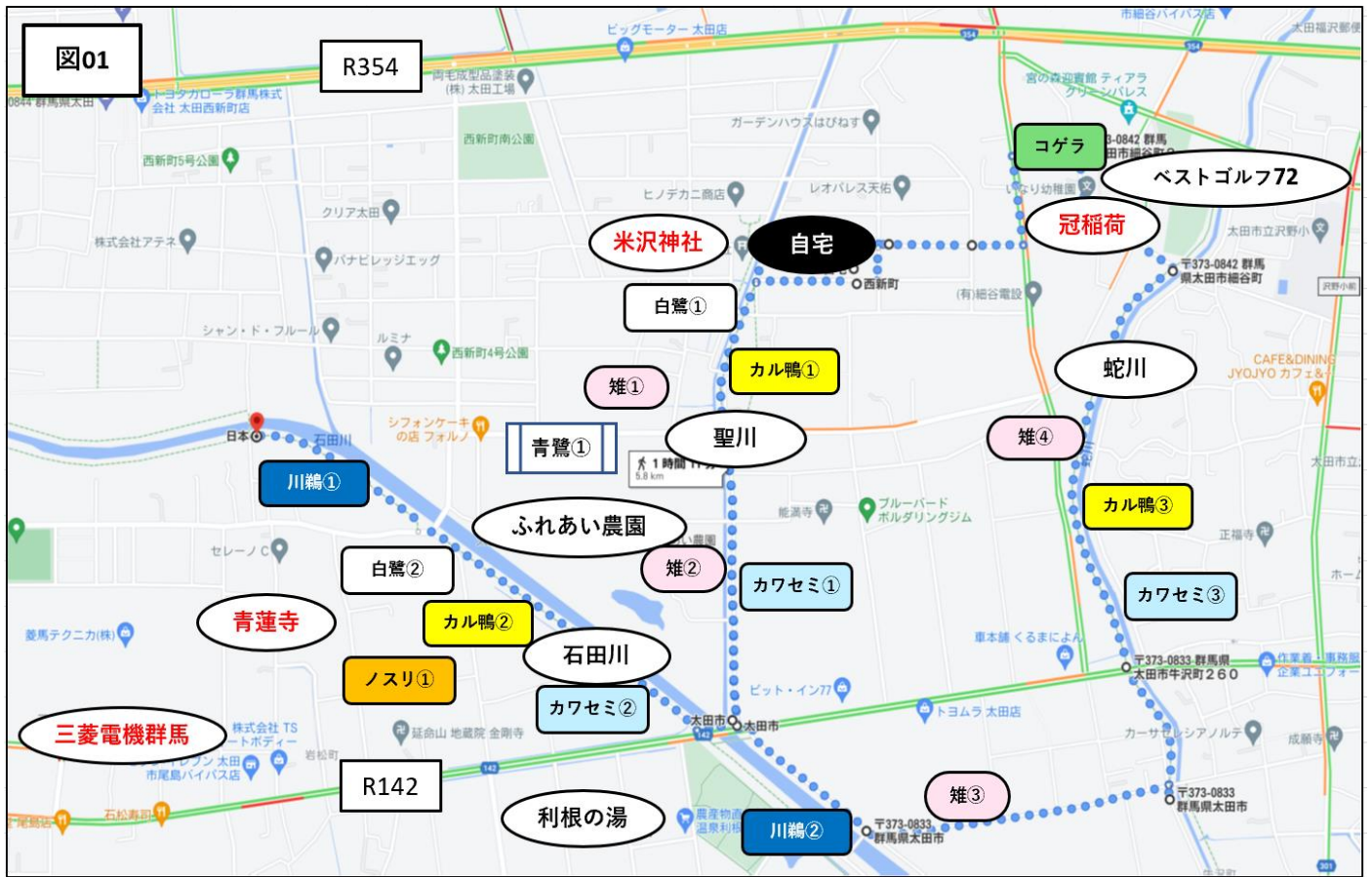
カメラは、シャッターを切るだけでは思った通りの映像をメモリーに残してくれないという、最も基本的な原理を前にして呆然。カメラとレンズを何台か買い集めながら、“撮りながら散歩”をする事5年。撮影済み写真を数えると、5万枚近くの写真がメモリー内を占領している状態になりました。

デジタル一眼とミラーレスの間を彷徨いつつ、“レンズ沼”に足を掬われながらの5年間でした。

写真の内容は、殆どが散歩コースと時折、出かける県内の公園や古墳の周辺の野鳥や花の写真でした。風景写真は殆ど皆無。ポートレートや記念撮影はほんの少しでした。写真の出来は、殆どがゴミの様なものばかりですが、何百枚かのうち、幾枚かは偶然にも“ハッとするような写真”もあることに気付きました。

期を同じくして、“菱の実会”の会長の重責を担っておられる杵淵氏より“近況の投稿”のお話を頂いたので、表記の題目で少し写真入りの文章にまとめてみました。

下の図1は、私が殆ど毎日周遊している散歩コースです(水色点)。



一周約 5.4 km程度、8,000～10,000 歩です。

散歩時刻は、朝 5:00～夕 16:00 で、一定していません。野鳥や花などの出現時刻等を考慮しています。

○コース概要

(1) 自宅→米沢神社→聖川南下→ふれあい農園散策→石田川西進、尚純神社、義国神社周遊→石田川戻り R142 越え田圃中の畦道東進→蛇川に至り北上→ベストゴルフ 72 手前を左折→冠稲荷神社→自宅。

(2) コース内にいる主な留鳥

- ①翡翠(カワセミ) ②カル鴨 ③アオサギ ④雉(キジ) ⑤白鷺(ダイサギ) ⑥川鶺 ⑦ノスリ
- ⑧セキレイの仲間(背黒セキレイ、白セキレイ、黄セキレイ) ⑨ノスリ ⑩雉鳩(キジバト) ⑪モズ

(3) 季節により飛来する主な鳥

- 春・夏の時期→⑫カワラヒワ ⑬メジロ ⑭尾長鳥 ⑮コサギ ⑯コゲラ ⑰カイツブリ
- 秋：冬の時期→⑱ムクドリ ⑲タシギ ⑳ジョウビタキ ㉑ツグミ ㉒ヒヨドリ ㉓鳶(トビ)
- ㉔チョウゲンボウ ㉕カモ類(マガモ、コガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ、)
- ㉖ゴイサギ ㉗ホオジロ ㉘シジュウカラ ㉙バン

(4) 一番撮りたかった写真

なんといっても、“カワセミ”です。あの翡翠(ヒスイ)色に輝く羽の色は絶品。でも性格は獰猛。

(5) 散歩に持ち歩くカメラ機材について

NIKON D500(ボディ)+AF-S NIKKOR200-500mm f/5.6ED VR+TELCON TC-14E,
 予備機として、NIKON D850 (ボディ)、AF-S 70-200 f /2.8G ED VR II +TELECON TC-20E III、
 マンフロットの三脚で総重量 10.0 kg程度のリュックになる。最近では重く感じる様になりました。

(6) 最近の散歩道の変容

2019年10月12日、台風19号の直撃を受け、“ふれあい農園”一帯が約1.5m水没。以降野鳥激減。

○“ギャラリー蔵”〔鳥編〕

- ① 翡翠(カワセミ) 左“雄”、右“雌” ふれあい農園で *嘴下側朱色は雌



- ② 白鷺(ダイサギ) 石田川で



- ③ カルガモ親子 聖川で



- ④ 青鷺(アオサギ) 強欲! 結局呑込めず



- ⑤ 雉(キジ)



- ⑥ 川鵜(カワウ) 石田川で



- ⑦ ノスリ 尚純萩公園そばの石田川べりで



⑧ セキレイ(白セキレイ) ふれあい農園で



⑨ ノスリ飛ぶ 同上



⑩ 雉鳩(キジバト)



⑪ 百舌(モズ)



* * 2019/10/12 夜半の台風 19 号の大雨で水没した“ふれあい農園”→石田川から(左)、聖川から(右)



⑫ 冠稲荷神社境内の春秋 コゲラ



⑬ 冠稲荷神社境内の春秋 桜老木にメジロ

